

瀬谷区知的障害理解啓発グループ
ant mama (アントママ) は、子どもの
発達障害や自閉症を分かりやすく地域



アントママの代表 八木澤恵奈さん

ボランティア活動奨励賞

知的障害などの発達障害に対する 理解啓発活動

瀬谷区知的障害理解啓発グループ アントママ ant mama

で伝える活動を行い、実績を重ねている。小学校で出前授業を終えた八木澤代表に話をお聞きした。

活動のきっかけ

八木澤さんの息子さんが通う学校で、息子さんの障がいについて話す機会を得たことが活動のきっかけだったという。当時、息子さんは個別支援学級で学ぶ六年生。普通級の子どもたちとの交流は、体育や道徳など学年が上がるに従い限られていく。八木澤さんは、息子さんの得意なところ、苦手なところをありのままに同級生に話したという。

話を終えて、一人一人の小学生から感想をもらった。「そうだったのか」「なぜが解けた」と、すんなりと受け入れられた。「もつと早く聞いておけばよかったのに」との感想もあった。このときの反響の大きさに、子どもの発達障がいや自閉症を皆に伝える意義を感じたという。これをきっかけに、学校や公共施設で講演をするようになった。そして、平成23年に7名のメンバーと一緒に「瀬谷区知的障害理解啓発グループ」を立ち上げ、本格的に活動を始めた。子どもの障がいを「あり（ant）のまま」を伝えたいの思いから、グループの名を「アントママ」としたという。

当初、子どもたちの前で「障害」という言葉を控えるよう学校から言われたり、障がいがある子の親から協力をしてもらえなかったりしたときには活動の難しさを感じたという。健常児やその親に、障がいを理解させるのは無理と思う親も多いが、そんな時に、力になってくれたのは仲間だったという。

障害をつたえる活動

アントママの合言葉は「みんな違って当たり前」。障がいのある子は、学校内で特別扱いをされる存在。知的障がいや自閉症の人の気持ちや感覚を子どもたちに伝えることは、「いじめ防止」にもつながる。アントママでは、言葉が伝わらない「もどかしさ」を着ぐるみの人形劇で表したり、周囲の喧騒を録音し、それが増幅して聞こえる体験をさせたりと、障がいによる感覚を伝える工夫を重ねている。

アントママの活動は、今、瀬谷区内の小中学校や高等学校に受け入れられている。一人の母親から始まった活動が地域で受け入れられ、その支持者が広がっている。今回のボランティア活動奨励賞への応募も、地域の子育て団体からの推薦であった。

子育てのピア相談の活動

アントママは、子育てに悩む母親のサポートにも取り組んでいる。瀬谷区子育て支援拠点「こてらす」で週1回、子どもの発達の遅れを心配する母親や家族の相談のピアサポートを続けている。ピアサポートとは、同じ境遇の仲間（Peer）同士の相談支援のこと。子どもの発達の遅れを相談するため、公



中学での啓発活動のようす

的な機関に相談に向くのはハードルが高いと感じる親は多い。不安を抱えた微妙な母親の気持ちに寄り添い、問題を共有しながら成長を見守ることができるこの相談は、今後も続けていきたい活動だという。



障がいのある子どもが避難所での辛さの寸劇で伝える

活動のひろがり

アントママには講座や研修会の依頼が地域から集まっている。学校だけでなく、町内会や自治会、PTA、法務局や更生保護会、市職員向けの研修会など、子育て中のママがメンバーであるアントママにとって家事・子育てとの両立は大変だ。

啓発の際、依頼先のニーズに沿った内容に作り変え工夫をしながら伝えている。お金を出しても聞きたいと毎年同じ団体から講演依頼をいただくことも多くなった。

障がいのある子どもが避難所で過

すことの辛さ、難しさを行政に伝えている。東日本大震災では障がい者にも多くの犠牲者が出た。障がい者側の防災意識を高めるとともに、障がい者が地域防災に参画することは重要だと考えている。

映画祭でサポーターを獲得

平成25年の年末、この奨励賞の副賞を使い、アントママ主催の映画会が開催された。上映された映画は『39（サンキュー）窃盗団』という障がい者が主演の映画。「障がい者は罪に問われない」と言われて、障がいがある兄弟が泥棒の旅に出るというコメディータッチの内容である。障がい者が直面する状況と生き方を丸ごと考えさせられる作品だ。

八木澤さんは挨拶の中で、アントママの活動をそのまま凝縮した作品だと語る。

今後の展望

マイノリティ（少数派）の人権保護や福祉増進に必要な活動である。さらに、すべての人に住みやすい地域とするために不可欠の活動だと団体のメンバーは考えている。

メンバーの皆さんは子育てをしながら

<団体情報>

団体名：瀬谷区知的障害理解啓発
グループ ^{アントママ} ant mama

活動開始時期：平成19年11月

代表者：八木澤 恵奈

会員数：7名

TEL：045-302-6962

FAX：045-302-6962

活動地域：横浜市内

活動分野：保健、医療又は福祉の増進

活動概要：知的障がいや発達障がいの人の独特のとらえ方や聞こえ方の疑似体験を通した理解促進のための研修を行っている。また、子育て支援拠点におけるピア相談、障がい児家族の避難場所体験活動を実施している。



瀬谷公会堂のホール満席の支援者の皆さん



映画「39窃盗団」の監督・主演者と団体スタッフ

らの活動ではあるが、皆、若い力でま
い進んでいると語る八木澤さん。同じ
ような活動をしているグループと連携

を図りながら、活動をもっと大きく広
げていきたいとの抱負を語っていた。
いた。